



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会

各地区安管協会の活動紹介

体験型交通安全教室、アルコール検査講習会を開催！

静岡中央地区、三島地区の安全運転管理協会では、この5月中、それぞれの安全運転管理協会による「スマホ等ながら歩行の危険体験の交通安全教室」、「酒気帯び確認義務化に伴うアルコール検査講習会」を開催しましたのでご紹介します。

静岡中央地区 ～スマホながら歩行の危険体験

実施日時：令和4年5月9日（月） 午前

実施場所：静岡市葵区井川 井川小中学校（校庭）

実施者：静岡中央地区安全運転管理協会役員（井川森林組合）、静岡中央警察署交通安全協会静岡中央地区支部（井川分会） 合計4人

参加者：井川小中学校の小学、中学生徒、教師 合計9人

実施内容：静岡中央地区安全運転管理協会役員である井川森林組合では、毎年、井川小中学校児童に対する交通安全活動を行っており、昨年実施した「スタントマンの交通安全教室」に続いて、本年はスマホ等の操作による「ながら歩行」の危険性の体験型交通安全教室を開催しました。交通安全教室では、校庭に仮設した歩道をスマホ等の操作、あるいはヘッドホンで音楽を聞きながら歩行したもので、歩道からはみ出したり、他の交通に注意出来ない危険性を体験することができました。交通安全教室の最後に児童らが、ながら運転による交通事故のDVDを視聴して、ながら歩行など交通事故の恐ろしさを再認識しました。



【スマホやタブレットを操作しながら歩行する危険性を体験する児童】

三島地区 ～アルコール検査講習会を開催

実施日時：令和4年5月12日（木） 14：00 ～ 15：10

実施場所：三島市谷田 静岡県総合健康センター 第2研修室

実施者：三島地区安全運転管理協会、三島警察署交通課 合計3人

参加者：三島地区安管協会の会員事業所のうち、36事業所48人が参加

活動内容：「アルコール検査講習会」は、今年4月から改正された安全運転管理者が行う酒気帯び確認の業務拡充について、会員事業所からの質問が多く寄せられていることや講習会の開催を希望する声が多かったことから三島警察署交通課より講師を招いて開催されました。
質疑応答では多くの質問に対し、講師の交通課員が丁寧に回答したもので、参加者から「疑問に思っていたことが理解できた。今後も適正業務に努めていく。」などの感想が聞かれ、有意義な講習会となりました。

【主な質問内容と回答】

- ・ 何度も会社と現場を行き来する運転者は、その都度酒気帯び確認をするのか。
→ 出勤時や運転開始時、それと運転終了後や退勤時に確認すればよい。
- ・ 出張先でレンタカーを運転する従業員についても確認の必要はあるのか。
→ レンタカーを運転する場合も、運転の前後に確認する必要がある。
- ・ 自家用車で出勤する従業員全員の酒気帯び確認をする必要はないのか。
→ 出勤については必要ない。業務で社用車等を運転する場合に必要である。
- ・ 自宅と現場を直行直帰する従業員は直接確認できないが、確認対象となるのか。
→ 業務なら確認する必要がある。電話連絡など直接対話の方法で確認する。
- ・ 安全運転管理者が確認できない場合はどのようにするのか。
→ 安全運転管理者が不在など確認が困難な場合に、副安全運転管理者、または補助者に指定された者が確認する。



【「アルコール検査講習会」の参加者の様子】

～安全を つなげて広げて 事故ゼロへ～